

ぼんぼり山便り

2007年9月から「緑の募金」から助成を受け、「緑の募金公募事業」として森林整備活動に取り組んでいます

毎月第一土曜日、第三日曜日 10時～15時位に活動中です。

第28回定例活動の報告

(6月22日 第三日曜日)

参加者 20名

・雨の心配はなさそうだが朝から蒸し暑い。これからは暑との戦いでもある。十分に水分を取って熱中症にならないように注意せねば。ただ、汗と一緒にミネラル分も失われるので、その補給も必要で、そのためにはスポーツ飲料や水に一つまみの天然塩を加えたものを用意し喉の渴きを感じる前、こまめに飲むのがよいという。

・今日の活動はボサ刈、除伐、倒木の片付けなどの林床整備と柚子剪定枝の片付けの他、いつも庭やビニールハウスを使わせていただいているお宅の柚子畑の草刈も行なう。

・朝のミーティングでは山主さんから聞いた「マムシ」に対する注意がなされた。昔から生息しているとのこと。作業にあたっては、藪や倒木の下にいきなり手を突っ込んだりせずに相手を逃がす算段を講じること。万が一噛まれた場合は直ぐに知らせること。救急病院の所在は調べてあります。

【林床整備】

・手鋸によるボサ刈隊とチェーンソーを持った除伐隊に分かれて森に入る。ボサ刈は未だ手が入っていない左右の境界付近を



〔下段へつづく〕

中心に下から刈り上げていく。左側の草の茂った隣地境界付近で作業中の仲間から「いたぞ」との声上がる。マムシの子供だったようだ」とのこと。



後で草刈隊からも発見の報告あり。どうやら陽射しのあたる草むらを好むように思える。餌となる昆虫や小動物の生息とも関係が有るのだから。下草の生えていない山の中では昆虫すらほとんど見かけない…

・ボサ刈をしていると倒木の存在が気になる。それが4、5本とまとまると「これが無くなったらすっきりするだろうな」と思ってしまう。さっそくチェーンソー隊を呼んで玉伐りしてもらい一緒に片付けると、「林床もすっきり、気持ちもすっきり」、それだけで今日一日の達成感を味わってしまった気になる。「もう今日は終わりにしてもいいかな」。



【草刈り班】

・朝礼終礼昼食時の集合場所でお世話になる持ち主の柚子の木エリアの草刈に向かった。…〔下段へつづく〕隣のお宅からも借りた刈払機2台で出陣だ。

・午前中の場所は、まとまった茎の草が多く且つ長さもあって、金属の歯が付いた刈払機をメインに、その後をワ

イヤータイプの刈払機で整理するようになぞる方法を取った。作業は進んで、半分くらいエリアが終わった頃かな…草刈してたメンバーが飛び上がった「何だ？何だ？何かに歯が当たった??」当たった正体は、蛇！まだ細く、短い、模様も成長した蝮とは違うように見えたけど、頭は三角、部分によっては、やはり蝮模様。いくら小さいとは言っても、相手は蝮…興味で覗くも、やっぱり怖かった。

・午後からは、別のエリアにて。この場所は、草の茎も細く、ワイヤータイプもフル回転できそう。って、臨んだけど、金属歯の刈払機の調子が悪くなっちゃった。急遽、歯を付け替え、やはり、一台で作業を進める。今度は、蛇じゃなく、ミミズ、それも巨大！タバコの箱と比較しても、太いし、長い！刈払機の歯が当たっちゃったけど、すごい生命力！あつという間に、逃げた。



・蝮にも会うし、巨大ミミズにも出会う…自然を感じる。なんて、大きな事言っても、怖かったな。あ、そうそう、草刈りは、無事に済み、作業に入る前と後では、すっきりさっぱり、きれいになりました。

で、もって、地粉の素麺、ジャガイモ、サツマイモのお饅頭…たくさん差入、ご馳走様でした。

文…ホーナーズより

ぼんぼり山便り

2007年9月から「緑の募金」から助成を受け、「緑の募金公募事業」として森林整備活動に取り組んでいます

<http://members2.jcom.home.ne.jp/bonbori/>

活動報告の詳細等は、ホームページにて・・・

第29回定期活動の報告

(7月5日 第一土曜日)

・参加者 14名

・梅雨の真つただ中、午後から雨が降るかもしれないとの情報もあったが、朝から晴れて蒸し暑く、いよいよ夏到来を思わせる日だった。急にこう暑くなると、何もなくてももしんどいものだ。ましてや山作業の格好ときたら、肌が露出しているのは顔だけだからだ。

この日は会の発足以来はじめて、「とりあえずの会長」をはじめ、主な主要人達の欠席が相次ぎ14名というやや淋しい数字の参加となったが、同じ盆掘地区の畑の活動部門から1人初参加者が来てくれた。それと、女性用に会が注文していた軽いタイプのチェーンソーの到着という嬉しい一面もあった。

作業としては、ボサ刈り・除伐・手鋸除伐・剪定枝焼却処理・新チェーンソーのしくみと使用講習会。

【ボサ刈り班】

・初参加者をまじえ、東の山の、竹林左側から上に向かってどんどん進んで行った。5月から始めたエリアとはいえ、まだ過去2度しか入っていないのに大分進みが早く、昼前くらいには、尾根につながる天然林までたどり着いた。

〔下段へつづく〕



天然林もなかなか暗い感じではあったが、そこに手をつけるとまだまだやるべき人工林のエリアに入れなくなることから、天然林は手をつけられないことにした。

あと、まだこのエリアをやるとすれば、竹林近いところで先月除伐した木の整理くらしいだ。

初参加者は、もくもくとやるボサ刈りを楽しいと言っていた。

わかるなー、その充足感。ボサ刈りや下刈り草の場合、成果が確認しやすいし、意外と普段の生活にはない「無」になってやっている自分に気づいたり。



【チェーンソー講習会】

・ニコのこのところの真面目に活動し、休まずに出席している。そのおかげであろうか、少ない女性会員のために軽くて使いやすいチェーンソーを揃えよう、というご配慮を会員皆様からいただいた。新しいチェーンソーを一台購入してもらい、今朝それが届いた。涙が出るほどありがたい事である。

新しい機種種のチェーンソーは、女性会員の使用が優先となるため、取り扱い方、管理、掃除の仕方をベテラン会員からお教えいただくこととなった。まずは、解体の仕方。ネジを緩めてカバーとチェーンを取り外す。解体すると、機械の構

〔下段へつづく〕

造が見える。潤滑油が出てくる小さな穴や、板の先にはクラッチが入っていることを教わった。小さいが、立派な機械である。近いうちこの機械にも愛着ある名前を付けてあげよう。

チェーンの張り具合を確認しながら、元どおりに組み立てる。その後、エンジンのかけ方と試し切りが行われた。軽いチェーン



は、支える力が少なくとも無理なくエンジンがかけやすい。早速、丸太を輪切りにしてみる。すると「すばらしい切れ」とのお墨付きを講師からもらった。良く切れるチェーンソーは、木の切り、くずを見ればわかるそう。切れないものは粉状になっているが、切れるものは、チェーンの歯型が残った、くずが出る。取り扱いについては、軽くなった分、エンジンの動きに振り回されないようにコツをつかむ練習が行われた。

右から、左から、縦切り、横切りと、色々試す。利き腕との関連か、左からの横切りがなかなかうまくいかない。



次回からうまく使いこなせるだろうか、不安も残る。なにしろ「これで、仕事を一人前できるように！」という期待が見え隠れするのだから・・・。